

## 🌸 コミュニティ・スクール 『おきの学園』 🌸

沖野地区では、地域の方が田んぼの先生やすずめ踊りの先生になったり、陸上記録会に参加する小学生に陸上部の中学生が技術指導を行ったりしているそうです。また、中学校区の防災訓練では、小学校高学年と中学生が民生委員と一緒に独居老人宅を訪問し安否確認を行っています。昔から地域密着の土壌ができていた沖野地区は平成23年に「中学校区 学びの連携モデル事業」の指定を受けました。沖野地区はもともと地域とのつながりが深く、協働体制ができていましたが、コミュニティ・スクールが発足したことによってどう変化したのか、学校運営協議会の山口さん（沖野小PTA会長）にお話を伺いました。

### ● コミュニティ・スクール（CS）って何？

コミュニティ・スクールとは、学校・家庭・地域の三者が、子ども達のために、より一層同じ方向を向いて課題を共有し、共通の目標を掲げて学校運営に取り組む仕組みです。令和5年度には、仙台市のすべての市立学校や幼稚園で導入することを目指しています。



### ● おきの学園スタート！

令和2年12月に沖野小学校、沖野東小学校、沖野中学校の3校でおきの学園コミュニティ・スクールが発足しました。学校運営協議会のメンバーは、3校学校長、PTA会長、スーパーバイザー、町内会長、民生委員、幼稚園園長、介護施設長の15人。学校運営協議会では、グループワークで和気あいあいと『沖野をこういう風にしたい』という意見をみんなで出し合います。

発足前には、学びの連携室より講師をお招きして教員、PTA本部役員、地域の方々に勉強会を行ったそうです。

どのように話をすすめているのかな？

①ざっくばらんに話せる雰囲気、思いつくままに意見を出し合う

『沖野をこういう風にしたい』

- どんな地域にしたいか？
- どんな子になってほしいか？
- どんなことをやりたいか？
- 私たちにできることは何か？

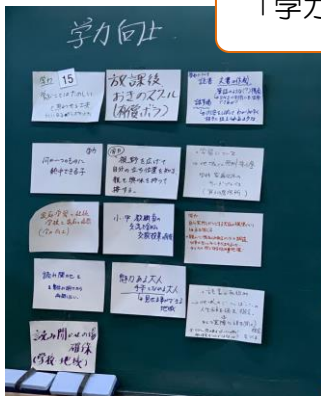
それぞれの学校の現状  
を知り課題を発見！！



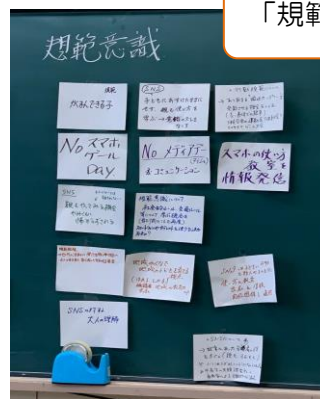
地域の課題も発見！！

②出された意見を4項目に仕分け

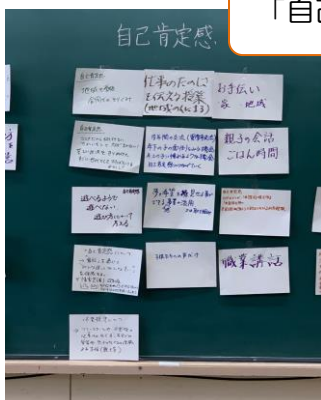
「学力向上」



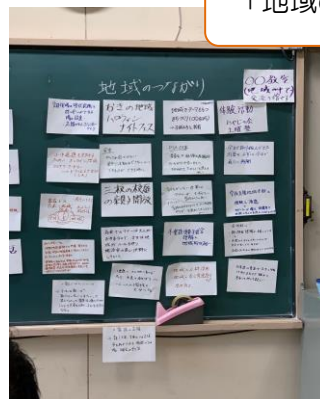
「規範意識」



「自己肯定感」



「地域のつながり」





自分が書いた意見は  
どの項目になるかな



とにかく楽しく！！



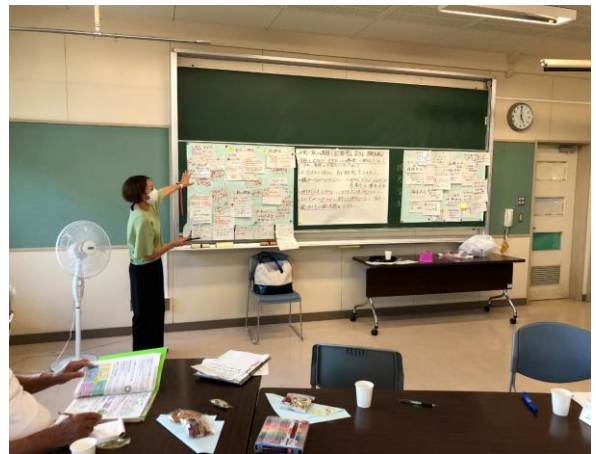
他の人たちはどんな  
ことを書いたのかな

### ③意見の集約・精査

どう工夫したら  
子ども達に伝わるかな？



沖野小班と沖野東小班に分かれてグループ会議



話し合いの結果をお互いに発表し合います

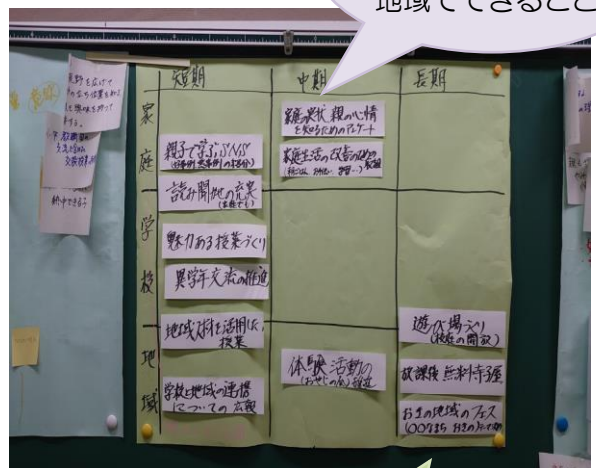
みんなで考えよう！！みんなで話し合おう！！

具体的に実行できる  
ものは何だろう？



委員がそれぞれの得意分野を生かして話し合います

家庭でできること  
学校でできること  
地域でできること



すぐにできるのかな？  
中期や長期計画でゆっくり  
すすめていくのかな？

## ●参加者の方に感想を聞いてみました

「SNSなど、昔はなかった問題が起きていると感じる。自分も変わらなくてはいけないんだと思う。」

「もっと楽しく子育てできるといいなと思う。」

「もっと家庭で教えられることもあるはず。」

## ●おきの学園のこれまでの歩みから思うこと

- ◆楽しい話し合いの雰囲気、意見が言いやすい雰囲気が大事！
  - ・コミュニティ・スクールでは、みんなで議論して実現に近づけていける。
  - ・学校、地域、保護者みんなで前に一步踏み出せそうな勇気をもらえる。
  - ・一つ一つの課題をその都度解決していける。
  - ・様々な立場の意見が聞けるため、自分が考える際の視点や切り口が変わり、刺激を受けている。
- ◆『沖野はひとつ』
  - ・地域のための学校→長期的目標で子どもを育てる。
  - ・アイデアをどう具体化していくか、議論を深めていける環境をつくることが大事。
  - ・学校を核として、もっと活動を深められたら。  
「この地域をどうするか」「子どもは地域の一員」「地域の課題は何か」



## ●今後したいこと

- ◆子どもの居場所づくり
  - ・放課後有償ボランティア
  - ・未就学児童のいる親子対象の学校施設の開放
- ◆地域のイベント
  - ・楽しいイベントをしたい！！
  - ・いずれは子どもがいない世帯や学校とつながりがない世帯へのアプローチも！！
- ◆「3校共通カレンダー」に子ども達へのメッセージを
  - ・例えば、試験期間中のSNSの使い方など、子ども達への規範意識を高めるようなメッセージを入れたい
- ◆おきの学園運営協議会としていろいろな情報を発信していくことで、コミュニティ・スクールが身近なものだと感じてもらえるようにしたい。

## ●これからコミュニティ・スクールを発足するみなさんへ

- ◆人選が大事。すぐ動ける人が委員になるとよい。
- ◆短い期間で変えるのではなく、長期的目線で考える。ゆっくり焦らず変えていく。
- ◆子ども達が地域に関わることによって、地域が活性化していくようなアイデアを。
- ◆地域の方も学校に関わり、やりがいをもてるように。→お互いに活性化。
- ◆地域と学校がwinwinの関係になる。

取材協力：沖野小学校PTA会長山口裕子様

おきの学園運営協議会の皆様

取 材：Pフェ斯特集部会（関口、今野、木村）

